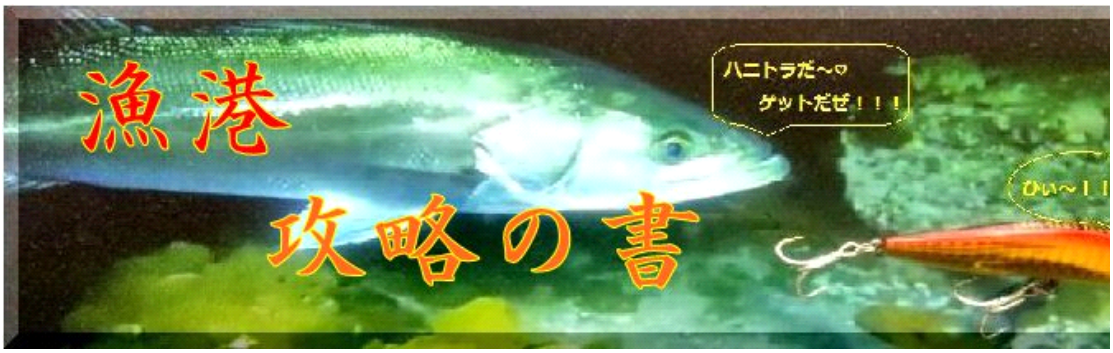


【ご注意ください！】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意ください。

このレポートの著作権は斉藤真吾に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を

いかなる手段においても複製、転載、流用、転売等

することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記に記載された

事項に同意したものとみなします。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を

いかなる手段においても複製、転載、流用、転売等

することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った場合、その他の不法行為に

該当する行為を行った場合は、関係法規に基づき

損害賠償請求を行う等、民事、刑事を問わず

法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートの情報は作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、

見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、

万が一誤り、不正確な情報等が有りましても

著者及びパートナー等の業務提携者は一切の

責任を追わない事をご了承願います。

このレポートを利用することにより生じた

いかなる結果につきましても、著者及び

パートナー等の業務提携者は一切の責任を

追わない事をご了承願います。

【推奨環境】

このレポートに記載されているURL はクリックできます。

できない場合は最新のAdobeReader を下記のページより

ダウンロードしてください。（無料）

http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

目次

・はじめに。

・漁港とは？

漁港で狙うべきポイントとは？

・岸壁

・チャンネル

・流れのヨレ

・スロープ

・防波堤

補足

・リアクションバイト

・注意するポイント

はじめに

こんにちは、しんです。

これからシーバスフィッシングを

始められるあなたへ贈る、

【漁港攻略の書】を作りました。

あなたのシーバスフィッシングに

役立てて頂けると嬉しいです。

少し長いですが、最後まで

お付き合いくださいね。

では、ちょっと簡単に自己紹介。

ニックN　　しん

出身　　名古屋

生息地　　三重県

誕生日　　10月3日

所属　　辰年

階級　　1児のパパ

流派　　ネコ派

仕事　　運び屋

趣味　　釣り全般

性格　　真面目8：不真面目2

優しく温厚で争いを好まない

気は長く、負けず嫌い

妻　　可愛くて取っ付き易い性格の

誰からも好かれる料理上手

好きな言葉　未来だけが唯一変えられる！

自業自得！

夢追い人であれ！

いずれ**日本全国**を

シーバスフィッシングで釣り歩くという

ちっぽけでくだらない**野望**を持った

シーバスアングラーです。

地球（ほし）と人との繋がりを求めて。

大自然の中に身を置き感じる。
時には静かに、時には激しく生命と対話する。
己の慣性を元に知的に歩む。
その先に待つドラマへと！。

あなたもシーバスフィッシングを始めてみませんか？

という理念を**ソウルコピー**として

シーバスフィッシングをもっと世の中に

広めていきたい単なる**釣りバカ**です。

よろしくお願いします。

詳しいプロフィールはこちら

↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓

http://seabass-live.link/?p=350

漁港とは？

さて、

漁港とは、主に漁師さんの船の駐留場所になっている

海へと繋がるフィールドを堤防で囲った施設です。

私達で例えるなら車庫みたいなものですね。

最も手軽に釣行出来て、それはもう様々な魚種が釣れる

素晴らしいフィールドです。

基本的に広大な海にすぐに出られるようになっていて

漁師さんにとっては、なくてはならない必須施設です。

では、**魚側からの目線**で見てみると、

小さな魚達の避難場所になっていて、海が荒れた時や

大きな魚に追われた時の逃げ場所の一つになっていま

す。

そして、だだっ広い海とは違い、細かくて複雑な地形を

持っています。

そのため、打ち寄せた波などがくだけて酸素が多く発生し、

外海のうねりも抑えられるのでカニやエビ、貝類や

小魚などの住処となっています。

大きな魚から見れば食堂ですね。

さらに、まだ小さな身体の生き物たちが育つのにいい感じの

小学校みたいなフィールドになっています。

いろんな生命が数多く生まれて成長していくおかげで、

私達も手軽に気楽に釣りが楽しめるというわけです。

と同時に、**私的には**生態系を守るための重要なフィールド

でもありますね。

日本中の漁港がすべてなくなってしまったら、

オカッパリから釣れる魚も確実に激減すると考えてます。

素晴らしいフィールドですね。

漁港で狙うべきポイントとは？

実際に狙っていく順番があります。

基本的にですけどね。

状況に応じて変えて貰えれば大丈夫です。

基本的には根本の方、つまり陸側から狙っていきます。

まず、内部河口から。

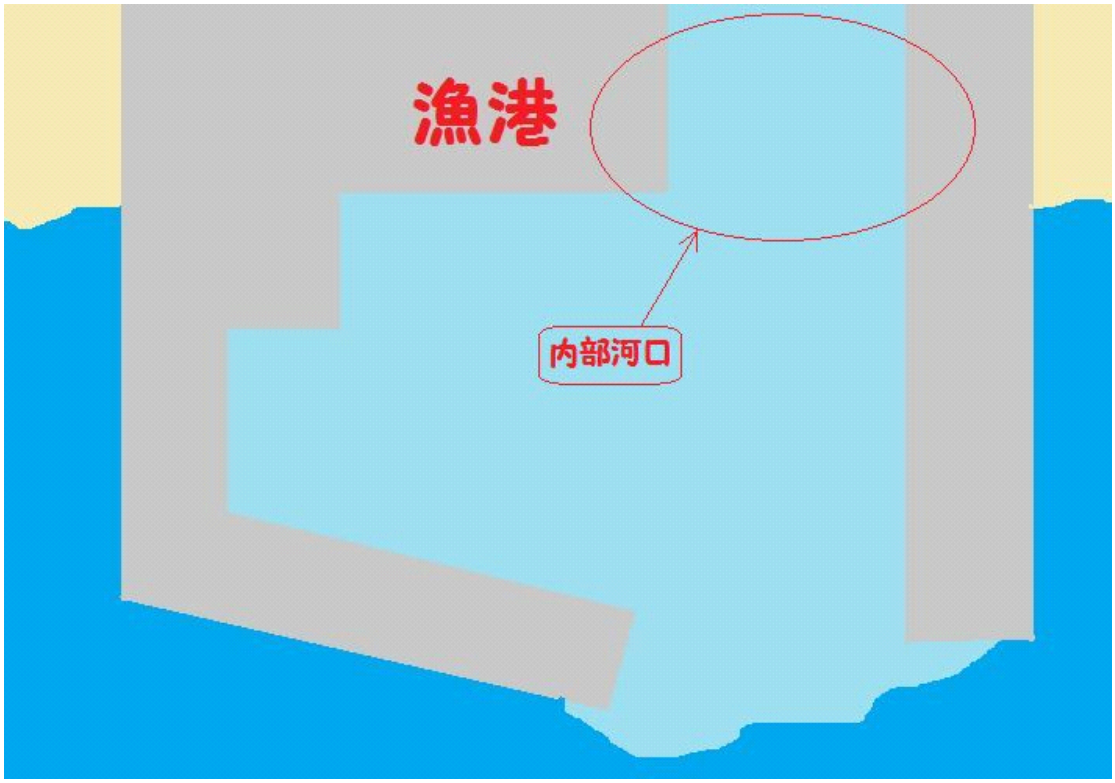
岸壁

内部河口ですが、小河川の河口になっている場合が

多く、淡水が流れ出ています。

そのため、水路中央には**チャンネル**と呼ばれる水の通り道が

あって、そこだけ深くなっています。



ですが、まずは足元の岸壁を狙ってください。

手順はこうです。

ゆっくりと足音を立てずになおかつ水面に自分の影を

落とさずに静かに岸壁沿いにキャスト。

この時、**流れの向き**を確認してください。

上げ潮と下げ潮でまったく流れが逆転します。

この流れに対してダウンストリーム、

つまり自分の立ち位置からほぼ真っすぐ下流の岸壁沿い

に

ルアーをキャストします。

この時出来る限り、フェザーリングという

リールのスプールを指で押さえてルアーが着水する直前に

ラインの放出を止めてしまう技を使って下さい。

こうすることでルアー着水時の**着水音**を

抑える事が出来ます。

よく人影を見かける岸壁沿いに近づいてくるシーバスは

警戒心が**MAX**です。

派手な着水音は避けて、

静かにひっそりと釣りをしてください。

岸壁に近づいてくるシーバスが見ているのはベイトですが、

ベイトと同じくらい岸壁の上にいる人にも

注意を払っています。

つまり、気付かれないように釣る必要があるんです。

そしてこの岸壁沿い、

キャストした時に余分なラインが出ていると

そのラインが風に流されて、

岸壁などに引っかかったりする。

これを防ぐためにもフェザーリングはかなり

役に立つんです。

そしてキャストしても、もちろん

岸壁の下を覗きこんだりしてはいけません。

魚は**すぐそこの岸壁の足元**に

張り付いてベイトを狙っています。

一歩下がって、竿先だけを岸壁から出すみたいな感じで

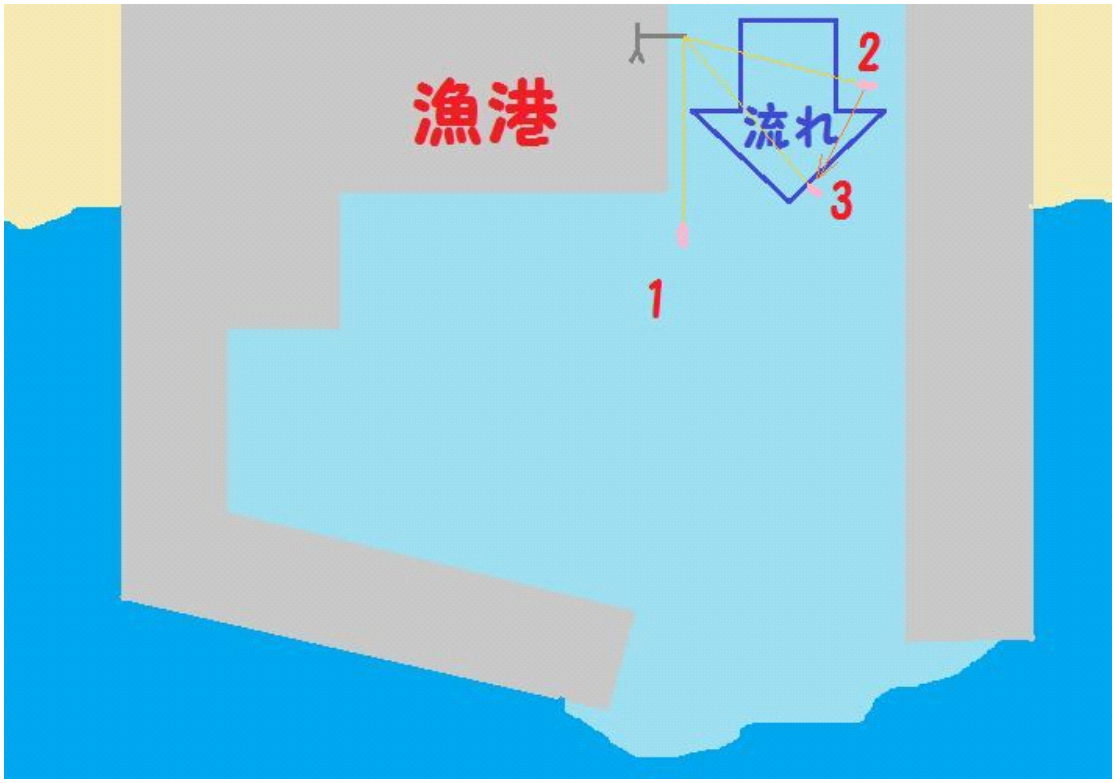
リトリーブを開始してくださいね。

シーバスが釣れたらロッドやラインが岸壁にスレないよう

に

少し前へ出ます。

画像の**1番**の工程です。

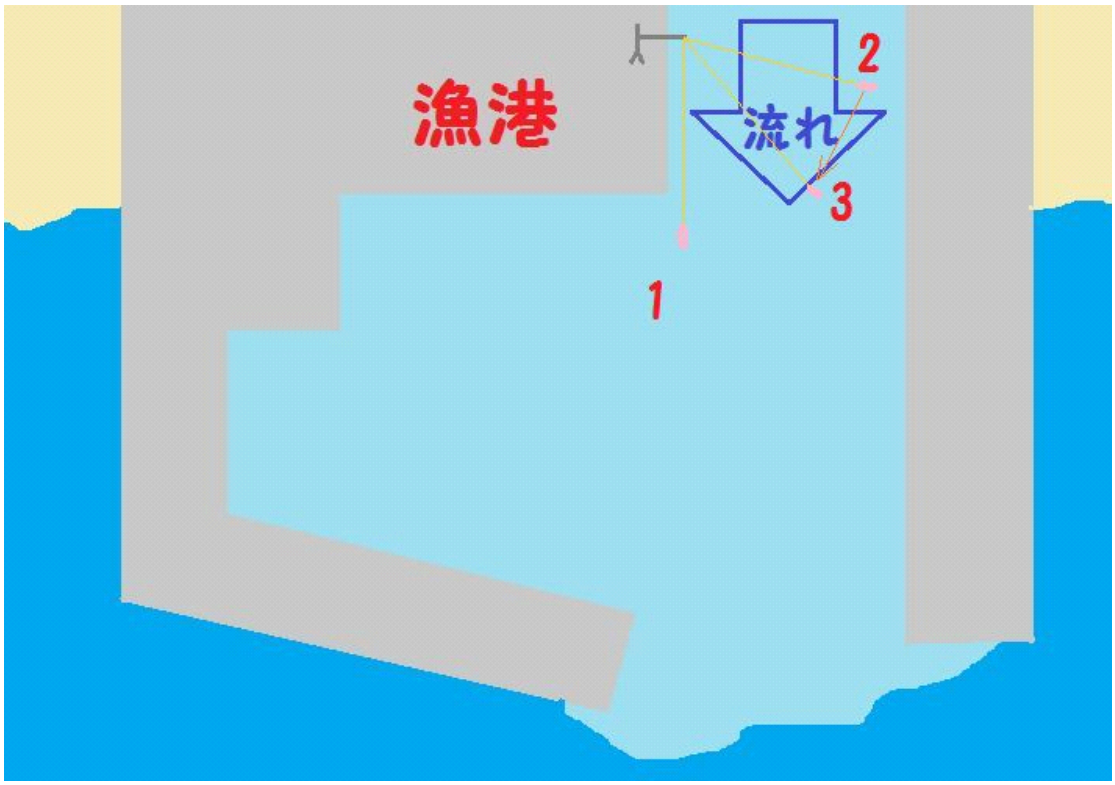


チャンネル

一通り、岸壁を探ったら今度は小河川の中心にある

チャンネルを狙います。

次の画像の**2番**と**3番**を見てください。



小河川の流芯を狙うんですが、

まず、**2番**の位置にキャストしてください。

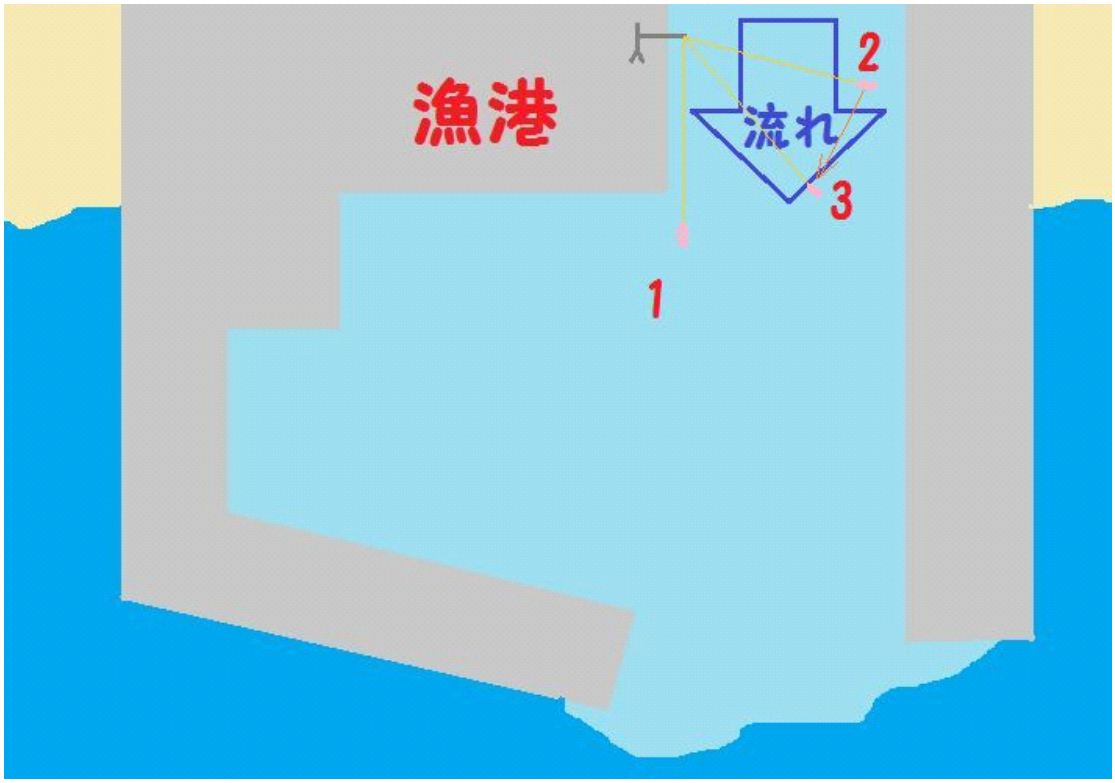
このように自分の立ち位置から斜め前下流に向けて

キャストする方法をダウンクロスといいます。

そして、水の流れを利用してルアーを

流芯部へと流し込んでいきます。

3番の位置ですね。



この時、大事なのが

ルアーのレンジをキープ出来るスピードで

巻いてくる事です。

しかも出来るだけ遅く。

ドリフトと呼ばれる釣技ですね。

フローティングならレンジを

キープ出来てもっとも遅い速度で。

シンキングなら沈んでいかない

ギリギリのリトリーブスピードで。

どのパターンでも

レンジをキープすることに集中してください。

つまり、レンジを変えたいなら

ルアーのタイプを交換してくださいと言う事です。

リトリーブスピードでレンジを

調整しようとすると魚が逃げます。

コレはルアーだと見切られてしまうからです。

方向的には流れに流されているのに流れに影響されずに

グイグイと泳いでいく、

こんなベイトはなかなか居ません。

シーバスから言わせれば、

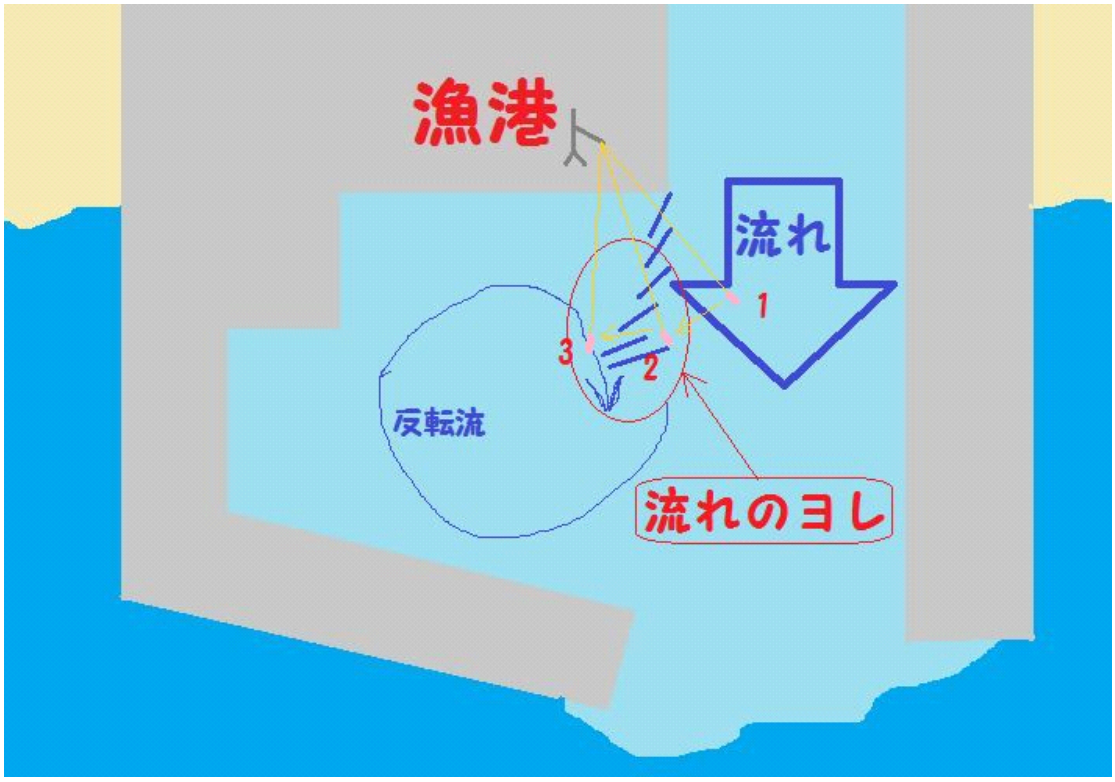
「なんで あいつ身体小さいのに俺より遊泳力あるんだ？」

って言う話になります。

流れのヨレ

さあ、次は**流れのヨレ**です。

下の画像を見て下さい。



下げ潮時に強い流れが発生し画像のようなオイシイ状態

が

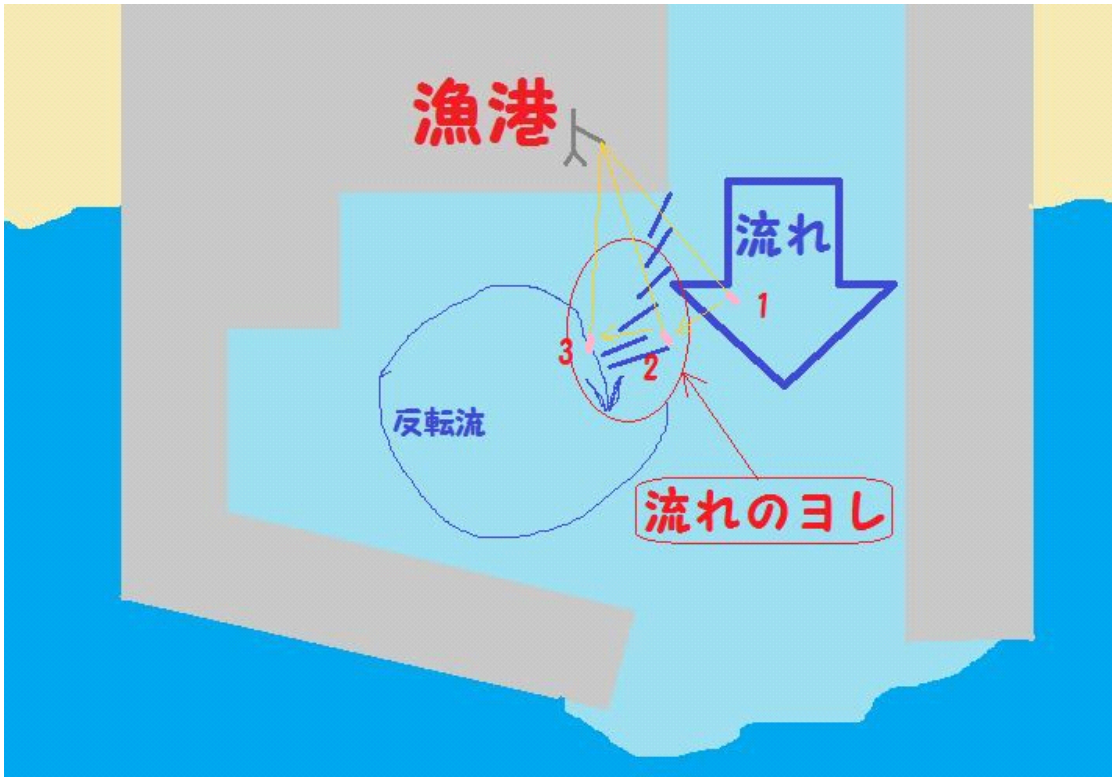
出来上がる事があります。

流れの流芯部もしくは流芯の向こうへルアーをキャスト。

コレも先ほどの”ドリフト”という釣技で同じように

流れを利用してポイントへルアーを送り込みます。

まずは**1番**へキャスト。

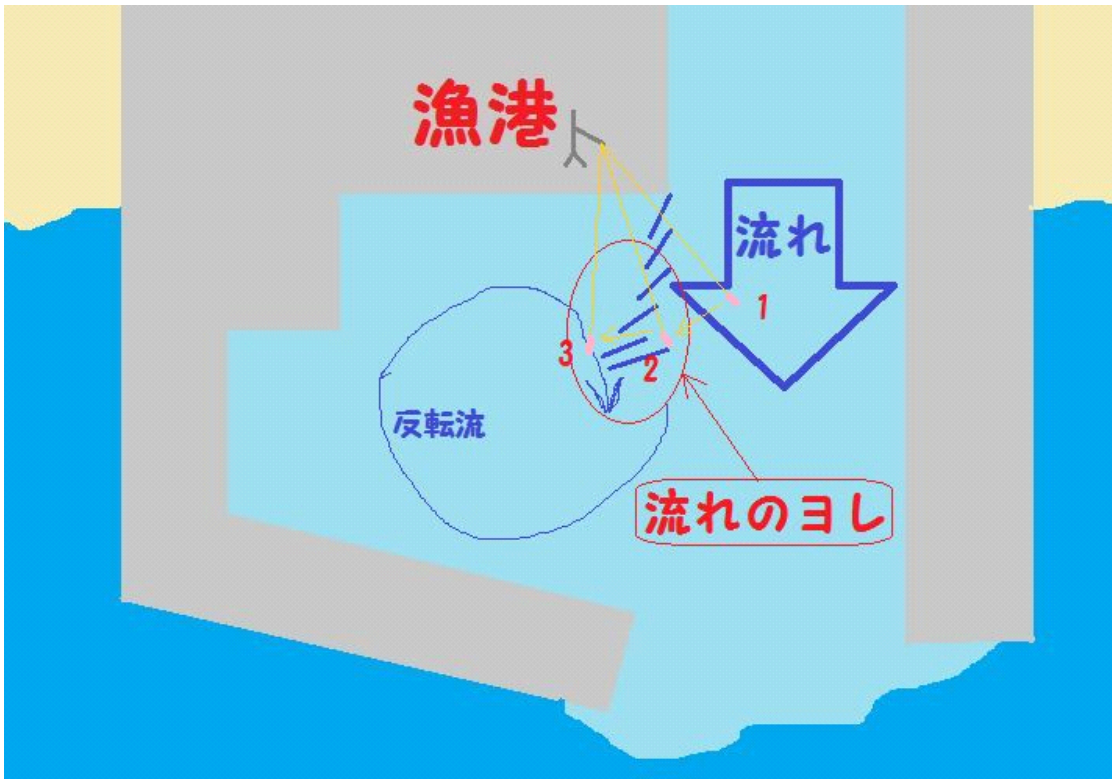


そのままあなたが狙っているレンジをキープしつつ、

2番の位置へとルアーを流し込みます。

レンジをキープ出来るギリギリのリトリーブスピードです。

ルアーが泳いでいるのかいないのか心配になるくらいのスピードですね。



そのままの状態でヨレの終盤あたりまで行ったら、

ゆっくりとルアーを泳がせて回収しますが、

この時に限らず、

キッチリと足元までルアーを引ききってください。

なぜなら、足元でバイトしてくる

パターンがけっこうあるから。

つまり、最後の最後まで油断してはダメだということです。

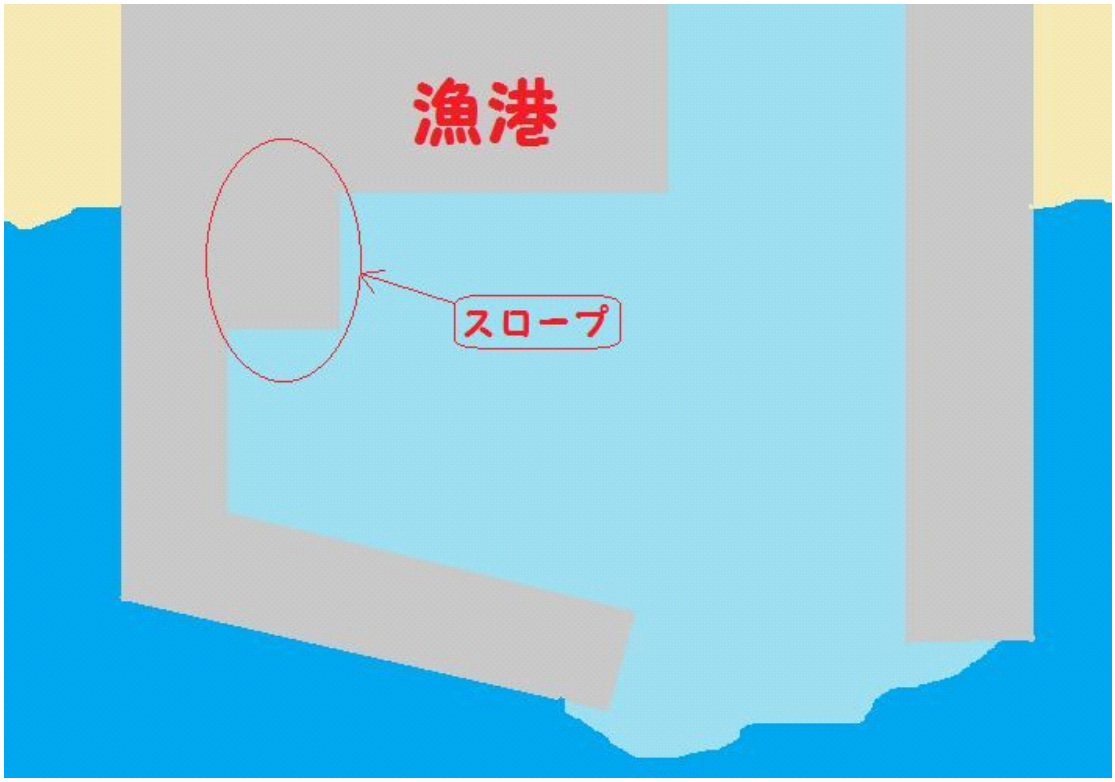
実は、**日によっては足元でしか当たらない日もあります。**

たぶん警戒心の強い日なんだと思いますが。

スロープ

漁港の**スロープ**とはこの部分。

↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓



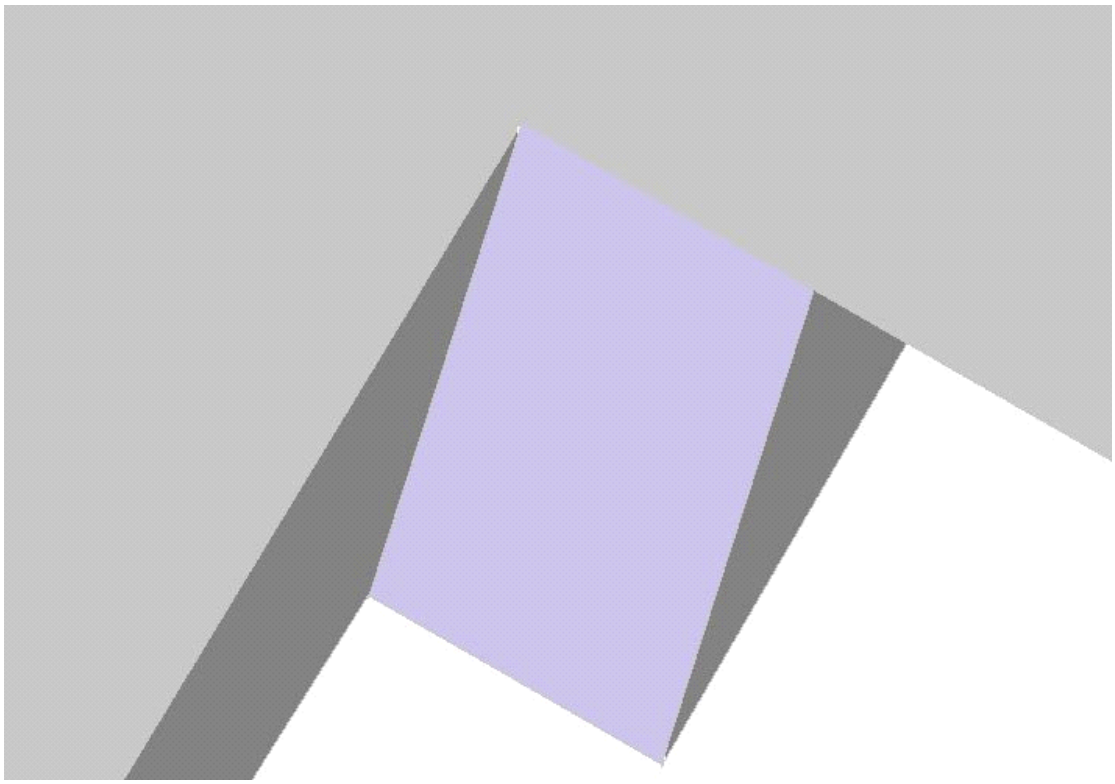
港に船などを上げたり、

海へおろしたりする**下り坂みたいに**

なっている構造物です。

こんな感じ。

↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓



港の奥まった場所に設置されている事が多く、

漁港で大きな魚に追われて生き残ったベイトが

最終的に行き着く最後の砦です。

なぜなら、登るほどに浅くなるので

体高の大きな魚は入って来られないから。

そして、小魚やカニなどの**遊泳力に乏しいベイトが多く**

集まる場所でもあります。

このポイントは特徴的で閉鎖的区域の一番奥にあり、

圧迫感を受けるので大きな魚がなかなか入って来ない場所。

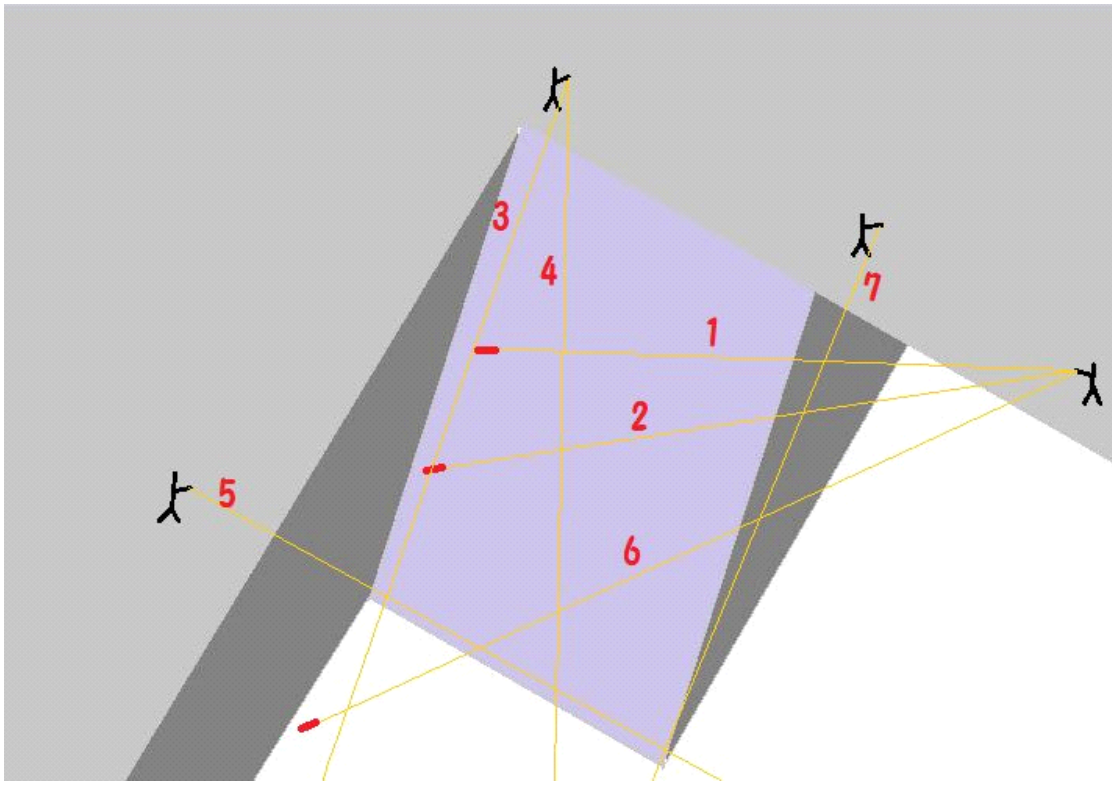
つまり、**全く人けが無い時やかなり水が濁っている時。**

又は曇りや雨で暗い時や夜などに狙うべき、

最重要ポイントです。

場所が場所なので狙えるタイミングは限られますが、

チャンスがあれば是非狙って見て下さい。



こちらも攻める順番があります。

まずは1番から。

条件を満たせばかなりの確立で釣れる場所なので不用意に

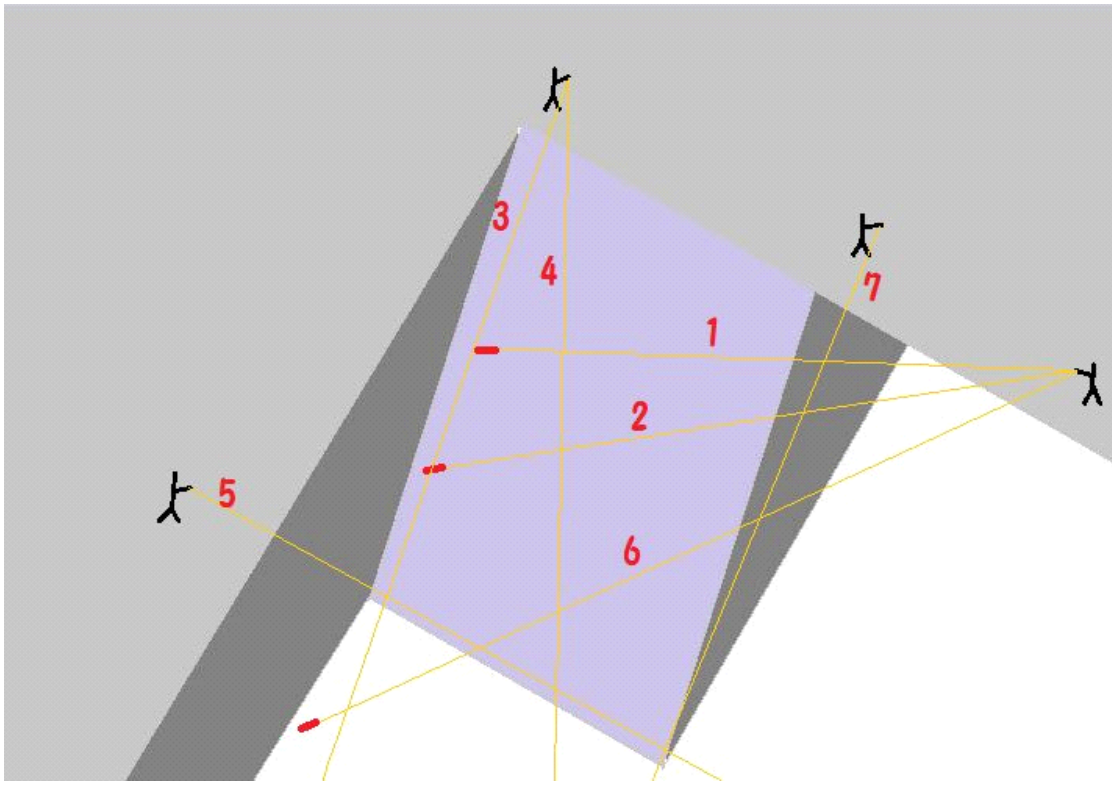
近づいてはいけません。

1番の浅い位置にルアーを着水させればシーバスはベイトが

跳ねたものだと判断します。

でも、静かに着水させてくださいね。

まずはこのコースを引いてください。



次は**2番**です。

少し攻めた感じになります。

2番のキャストは着水音を極限まで抑えてください。

一投目でベイトがざわつくのでシーバスが

「ん？、あいつら、何かに追われているな？」

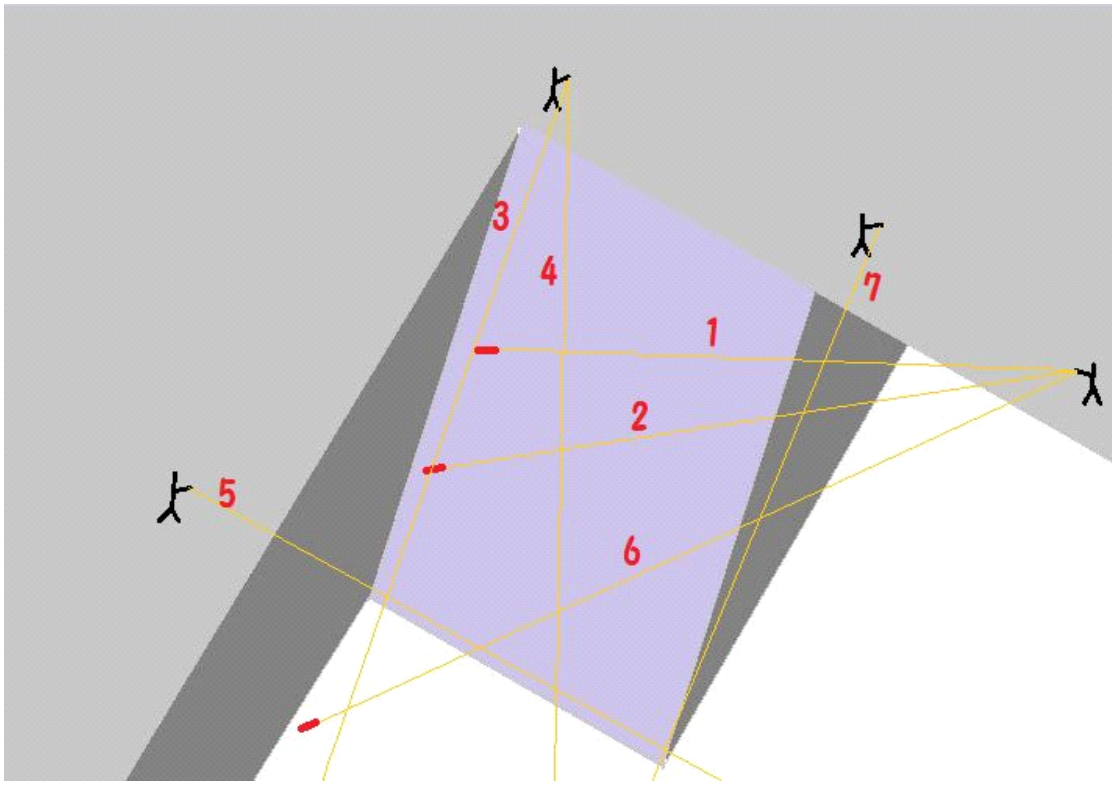
と判断して、

「じゃあ俺も。」

みたいな感じになって活性が上がります。

その状況を狙った二投目なので

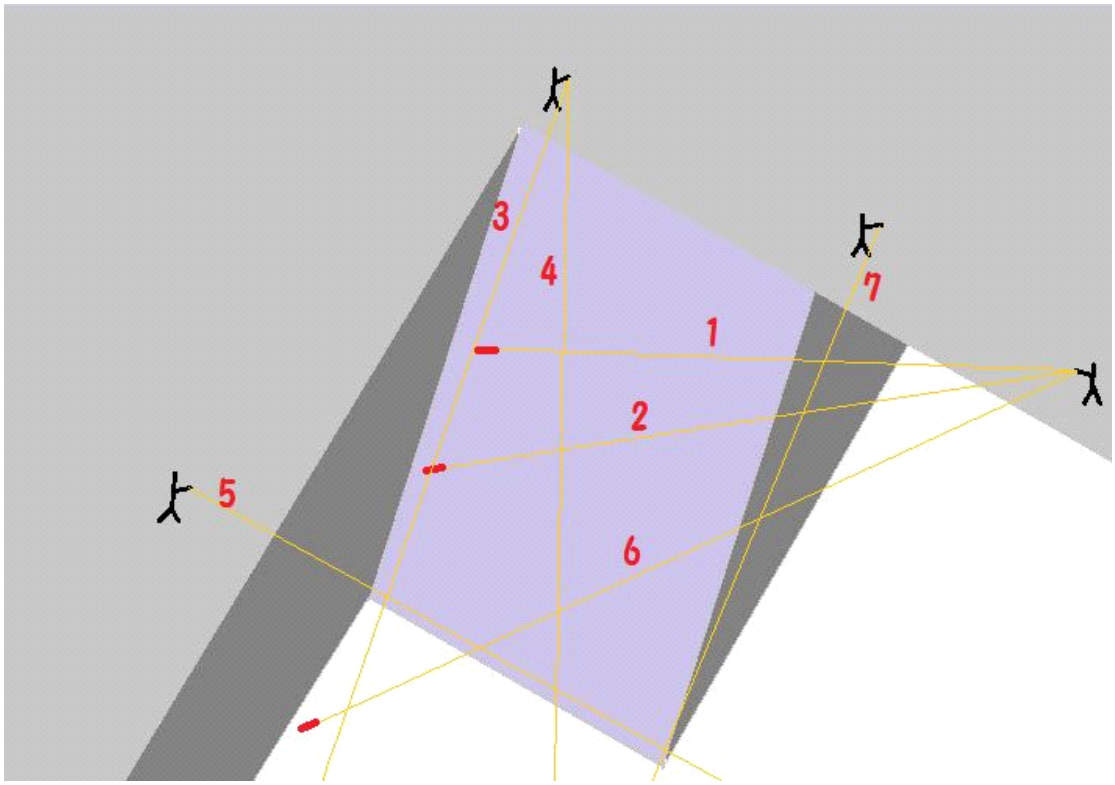
着水音さえしっかり抑えれば警戒されません。



忍び足で移動して角っこへ行って**3番**のキャストをします。

少し遠くへ投げてくださいね。

つぎは**4番**のキャスト。



同じく遠くへ投げて下さい。

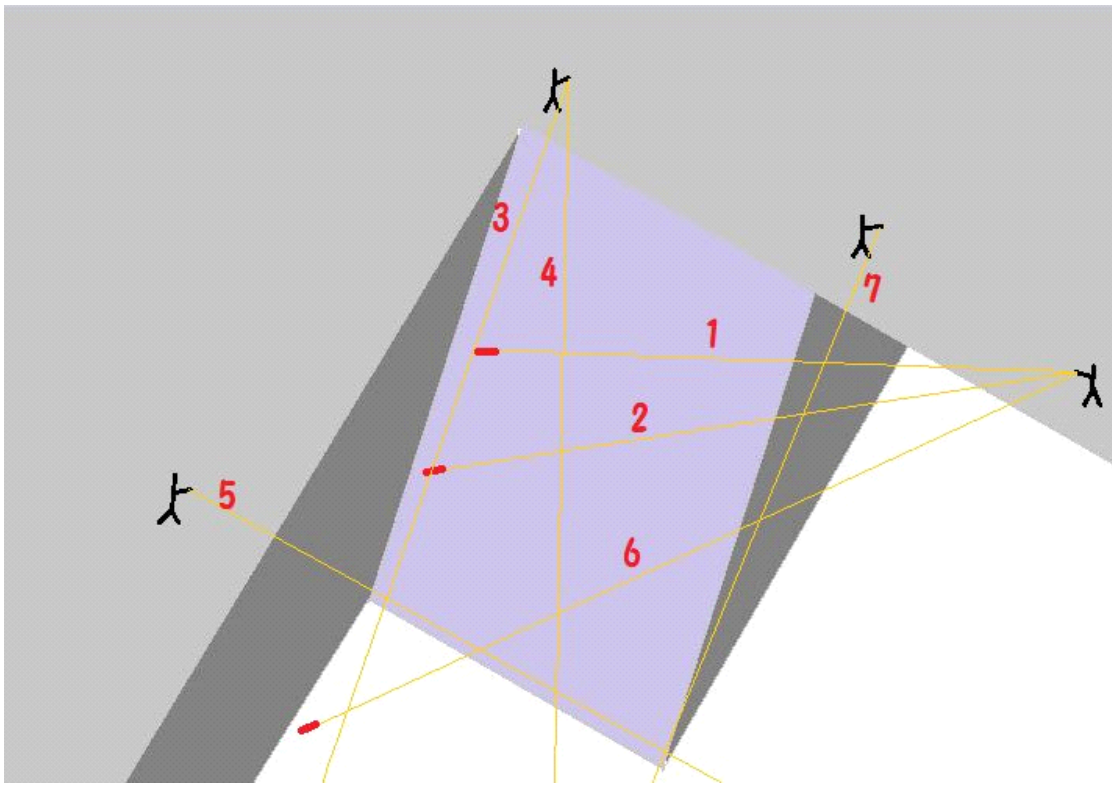
シーバスがスロープの際まで来てる可能性が高いので

その周辺にキャストすると逃げます。

どのポイントにも言える事ですが、

可能であればポイントを直撃しない事。

3.4.5番はそのための遠投です。



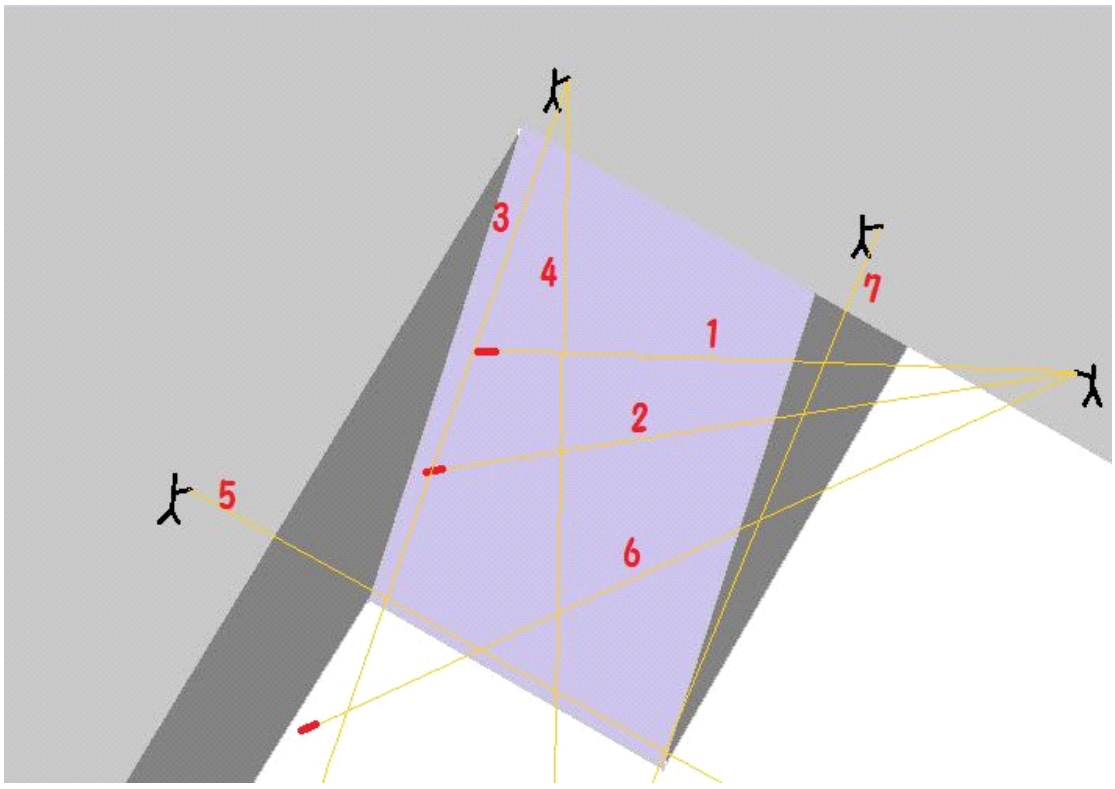
ひっそりと**5番**へ移動します。

同じく遠くへキャストしてスロープの切れ目を平行に

引いてきます。

再び、見た目に怪しすぎる忍び足で最初の立ち位置に

戻って**6番**のキャストをします。



スロープの横の切れ目と縦の切れ目の上を通るように

引いてきてください。

そして**7番**を引いて終わりです。

ルアーは**スーパーシャローランナー**を使ってください。

水面直下を攻めるタイプ、たとえばエリア10とか。

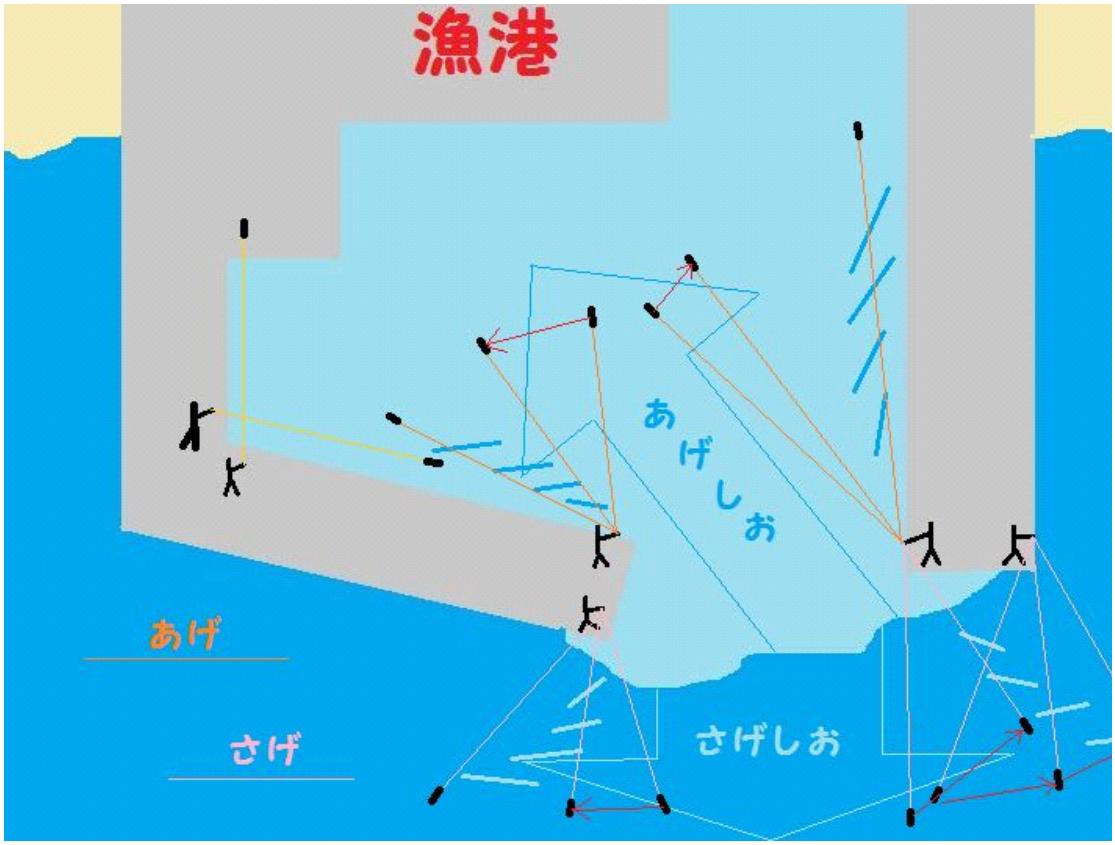
高いキャスト精度が求められるので

明るいうちに練習しておくのもいい方法ですよ。

防波堤

さて、いよいよ**防波堤**です。

下の画像を見て下さい。



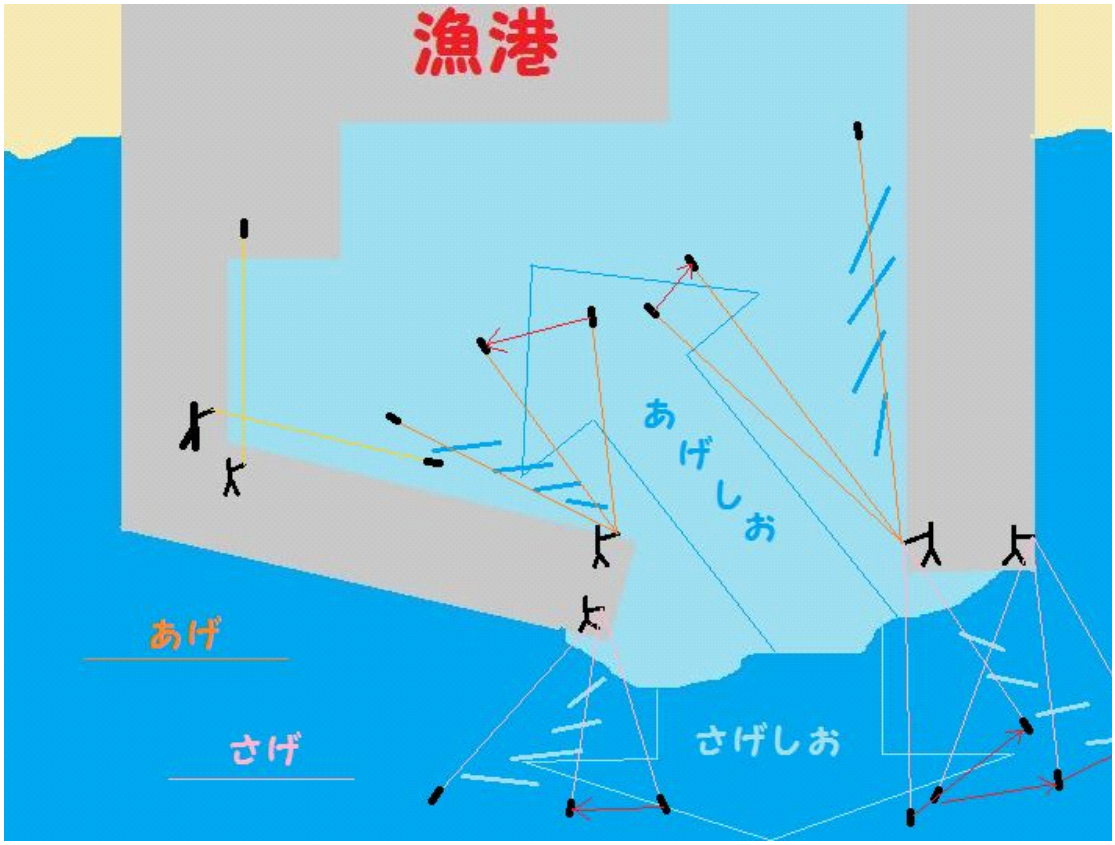
かなり複雑になっていますが、

基本的な攻め方は流れを釣る時と同じで

赤線の矢印はドリフトのことを指します。

上げ潮と下げ潮でキャストラインの色を分けてみました。

上げ潮がオレンジ、下げ潮がピンクです。



この漁港の出入り口は最も流れが強くなる場所で、

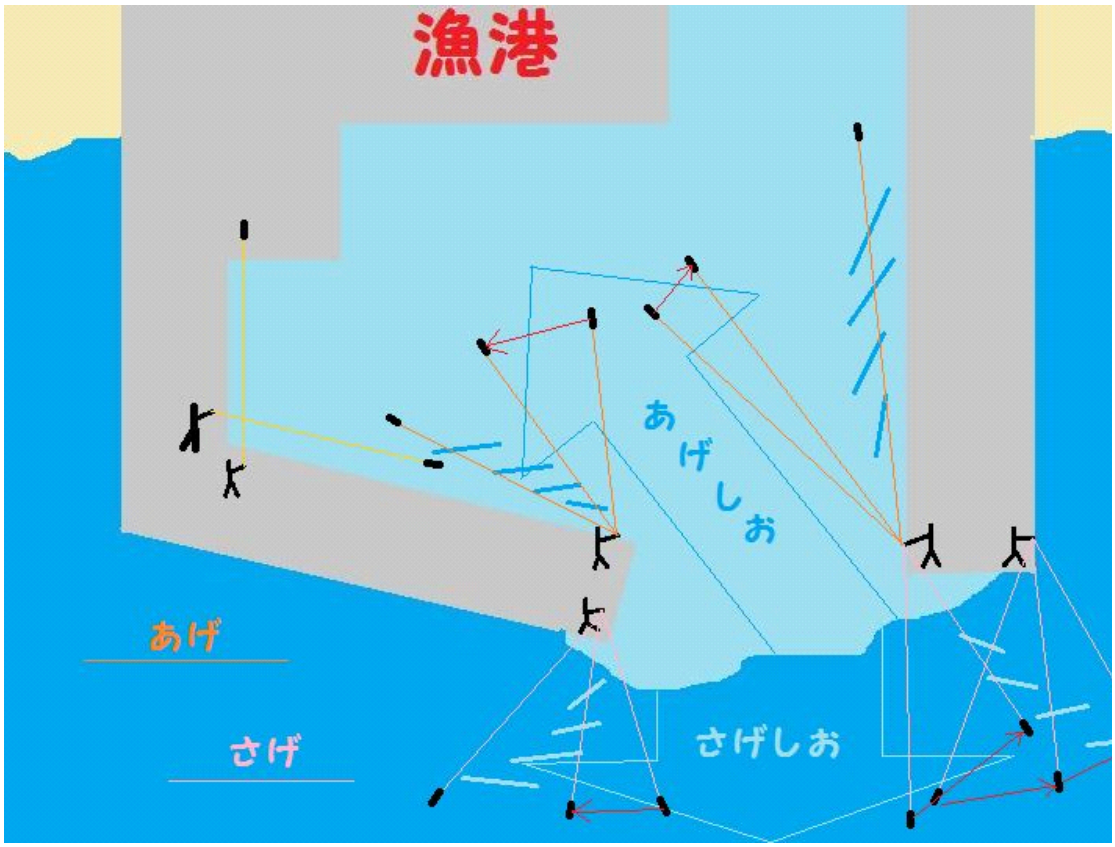
シーバスを狙うのならこの流れを利用した

釣りになります。

これはバイブレーションで深いレンジを探る時も基本

同じ理論で攻めます。

流れに押されたルアーを演出してください。



ほとんどのキャストを流芯部へ投げます。

そこからルアーにレンジをキープさせた状態で

流されてください。

そして、流芯部の強い流れが少しゆるくなったなぁと

思った

その瞬間がシーバスがバイトするタイミングです。

流されたベイトが流れに逆らって泳ぎ切れずに

流芯部の流れからはじき出された瞬間をシーバスは

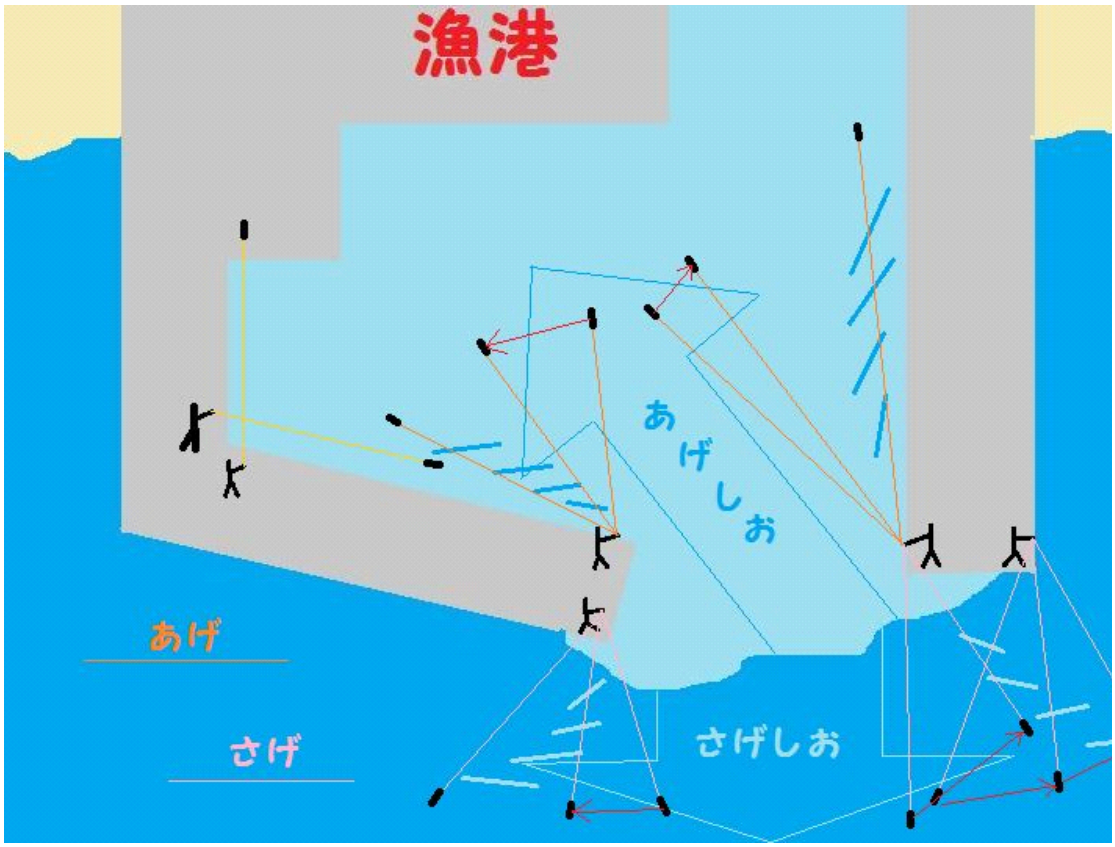
狙っています。

ベイトがシーバスに気が付いて流れに戻っても、

その流れの中では流されないのがやっとなので

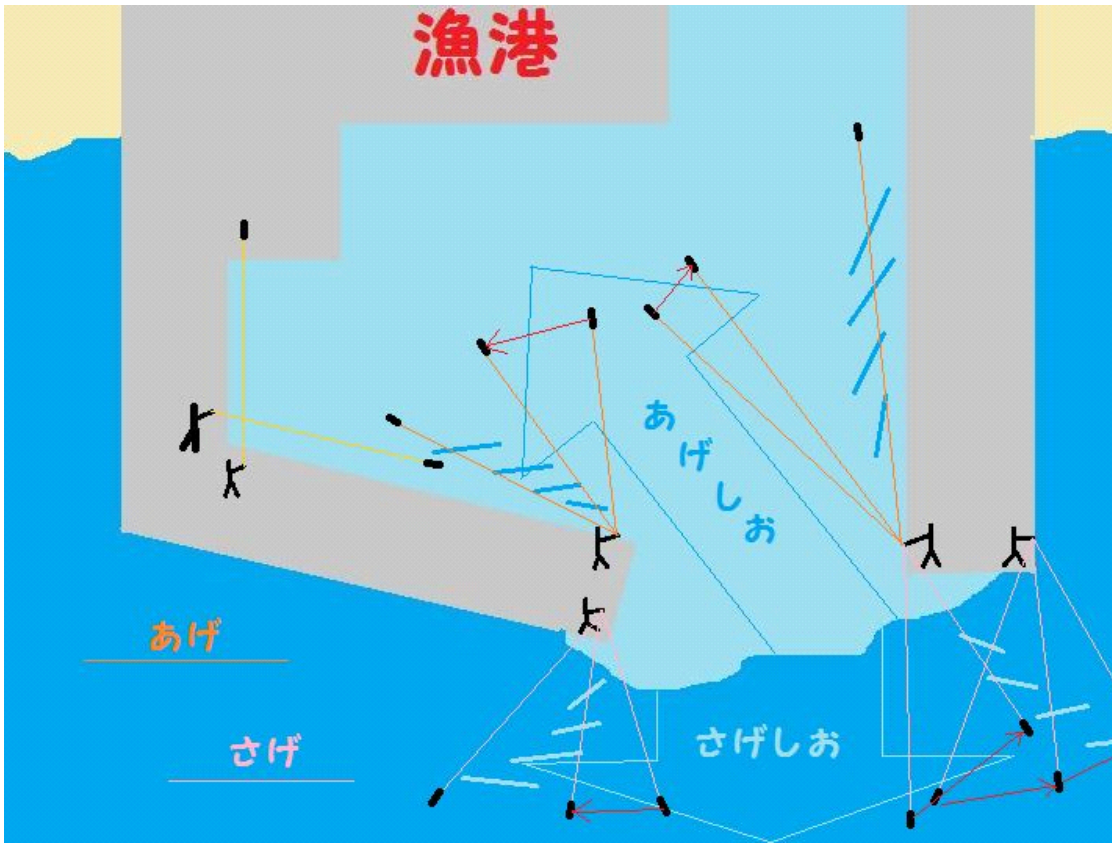
そこを遊泳力のある大きな身体を使って

シーバスが捕食します。



つまり、シーバスは**流れの際**に付いて

ベイトの動きを封じて襲いかかったりするのです。



ですが一番の理由は、

ベイトが強い流れの際に出来た流れのヨレに集まる

習性を持っているから。

何故かと言うと、この流れのヨレというのは

流速差の違う流れがぶつかる境目に出来るんですが、

ここは溶存酸素が豊富で多くのプランクトンが発生します。

ベイトの餌はプランクトン。

・・・。

もう、わかりましたね？

そう、単純にベイトが多く集まるから

シーバスが寄ってくるんです。

だったらそこに、より美味しそうな

ヤツを流し込んでやればいい。

こういうことなんです。

あなたのすることは、例えば流れからはじき出された

ベイトがどう泳いでどこへ向かってどこで定位するか？

これをイメージしながらルアーに

そのイメージを表現させてあげる事。

シーバスの**射程範囲**にいかに美味しそうにベイトを

届けるかを意識して釣るとあっさりと釣れてしまいます。

リアクションバイト

もう一つ、これらとは少し違って

若干こちらから仕掛けるという釣り方があります。

コレが**リアクションバイト**というやつです。

たとえば、シーバスが身を隠しそうな障害物や、

ベイトから死角になる場所。

そういった場所に早い動きやトリッキーな動きで

ルアーを通して思わずシーバスに口を使わせる方法です。

先ほど説明した流れのヨレの中で

シーバスの捕食エリアとなっている

水中領域が存在します。

ここに、バイブレーションなどのハイアピールな

ベイトを素早く通して、シーバスにルアーを

見切らせる隙を与えない釣法です。

シーバスたちに

「おっ、やべぇ、行っちまう！」

と焦らせて、無理やり口を使わせる**心理的釣法！？**で

す。

ただし、シーバスがすぐに飛びつける場所に

ルアーを通さないと追いつけないので、シーバスが

定位している場所を正確に把握していなければなりませ

ん。

ホームフィールドに通いつめれば

そのあたり分かってくると思うので上達してきたら

試してみてくださいね。

注意するポイント

さてさて、いろいろと漁港の攻め方、ポイントについて

解説させて頂きましたが、押さえておかないといけない

注意点がいくつかあります。

一連の釣り方のなかで、

・ポイントを直撃しない事。

・レンジをキープする事。

・シーバスフィッシングの極意でもある”タダ巻き”を

しっかりと理解して実践する。

・ルアーの着水音に気を配る。

・先行者がいたら、とっとと別のポイントを狙う事。

この**5点**を注意してください。

ポイントを直撃しないのは分かりますね？

空からあんなの（ルアー）がズバズバ飛んでくれば

魚から見たら攻撃にしか思えません。

レンジをキープするのは実はドリフトのキモなんです。

多くのアングラーはここが雑だから当たらないんです。

タダ巻きとは、一定のスピード一定のラインテンション、

つまりルアーの引き抵抗ですね。

これを自分の手で感じながら

正確にキープしてリトリーブする事。

特に手に伝わる抵抗には常に注意を払ってくださいね。

慣れてくれば重くなったり軽くなったりしているのが

感じ取れるはずです。

ルアーの着水音に関しては空から物が降ってくる音ではなく

水面でベイトが跳ねる音に出来る限り近づけるという

意味があるんです。

これは無駄に魚を警戒させないためで、

常にルアーアングラーが多い小さな漁港なんかでは、

一撃で漁港内のシーバスが全部いなくなるみたいな

スレスレフィールドもあります。

先行者が居た場合はすでに魚が警戒してますし、

近くに人がいる状態でルアーを岸壁と平行に投げるのは

実はマナー違反です。

つまり、海の方ではなく自分の立ち位置から

横に向かって投げることですね。

まあ、すでにシーバスがいない可能性が高いのに、

わざわざ隣の人とトラブルになるようなリスクを取る

必要は無いです。

絶対にやめてくださいね。

これらに注意して何度もホームフィールドに通えば

以外に**あっさりと**シーバスからの反応を得られるはずです。

ああ、それともう一つ。

あなたがルアーを食わせたいと思っている位置に

ルアーが近づいたら**ルアーが泳ぐ向き**に

気を付けてください。

魚というのは**基本的に流れの上流に頭を向けて**泳ぎます。

コレを無視してばかりいるとシーバスにルアーが

偽物であると簡単に**見破られます。**

ドリフトでルアーをポイントへ運ぶのは、

ある意味**このためでもある**んです。

このようにかなり注意する点は多いですが、

これらのポイントをしっかりと押さえられるように

練習していくのが一番の近道です。

実はこれらの技術を習得していく間に釣れてしまいますが。

私はシーバスは”釣れた魚”ではなく、

”狙って釣った魚”だと考えてます。

あなたもどっぷりとシーバスフィッシングを

楽しんでくださいね。

以上が漁港攻略の書でした。

それでは、また。

グッドラック！

【参考記事】

しんがライブ・オブ・シーバスと言うブログを

立ち上げた理念、その野望とは？

http://seabass-live.link/?p=350

シーバスとは？釣りに行く前に知っておいたほうがいい秘密。

http://seabass-live.link/?p=443

実釣編記事を書くにあたってのシーバスルアーの種類別解説と使い分け。

http://wp.me/p6NdM5-9y

シーバスフィッシンッグで爆るための

ホームフィールドの決め方！

http://seabass-live.link/?p=458

最初にマスターすべきリーリング、リトリーブ、

つまり引き方の基本。シーバスを始めるあなたへ。

http://wp.me/p6NdM5-8I

【しんのメルマガ】

http://wp.me/p6NdM5-ce

【お問い合わせ】

http://tinyurl.com/nra5bar

【ブログ　**ライブ・オブ・シーバス！**】

http://seabass-live.link/